

## 1 はじめに

芦北水俣郡市中体研は、今年度より古田利也会長を中心に学校数8校、体育担当者9名で研究を進めてきた。今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けてきたが、感染対策を十分に行った上で研究を進めてきた。今年度は、研究テーマを「主体的・対話的で深い学びを実現する保健体育の創造～活動あって学びある、未来へとつなぐ芦北水俣スタイル～」とし、研究に取り組んできた。

## 2 活動状況（郡市）

会議	期日・場所	内容
第1回研究会	期日：5月11日（水） 場所：芦北町立田浦中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>役員選出</li> <li>研究主題の決定</li> <li>年間研究計画の立案</li> <li>授業者決定</li> </ul>
第2回研究会	期日：8月2日（火） 場所：芦北町立田浦中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師招聘 講師：熊本県立教育センター 指導主事 梅北 勇樹 氏</li> <li>11月実施予定学習構想案検討会 提案者：今村 文治 教諭</li> <li>実技研修：指導力向上研修会の復興 指導者：羽田 聡美 教諭</li> </ul>
第3回研究会	期日：11月22日（火） 場所：芦北町立湯浦中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>参観の視点確認</li> <li>研究授業 【領域：器械運動「マット運動」】 【授業者】芦北町立湯浦中学校 今村 文治 教諭</li> <li>授業研究会</li> </ul>

## 3 令和4年度研究テーマ

テーマ：「主体的・対話的で深い学びを実現する保健体育科の創造」

～活動あって学びある、未来へとつなぐ芦北水俣スタイル～

## 4 テーマ設定について

○「活動あって学びある」とは

近年、タブレット等のICT機器を活用した授業が展開される中、保健体育科の授業においても活用方法について課題となっている。

保健体育の授業の本質は、「身体を動かすこと」「活動すること」である。よって、「ICT機器を活用すること」が目的とならないように気を付けなければならない。そのためには、ICT機器を活用しながら、1時間あたりの活動時間を十分に確保する授業展開を進める必要がある。

また、「何ができるようになるのか」「何を学ぶのか」「どのように学ぶのか」といった「学ぶ意味を問いながら、能動的に学び続ける力」を身に付ける授業展開を実施するために、単元のオリエンテーションで「単元のゴールの姿」を示し、1時間ごとの「めあて」についても「単元のゴールの姿」に迫るためのものを設定していく。

